

世帯と人口

(5月1日現在)

| | | |
|----|----------|--------|
| 世帯 | 43,224 | (+208) |
| 人口 | 117,405人 | (+187) |
| 男 | 60,215人 | (+126) |
| 女 | 57,190人 | (+61) |

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



▷建設予定地 大谷5,096番地(現在は資源選別場として稼働中) ▷総工費 約7億円
▷建設工期 平成12年6月~13年8月(予定) ▷建物の概要 プラザ棟…鉄骨平屋建て(床面積539.36㎡)、研修室、再生品展示コーナー、自転車等修理工房、事務室など。工場棟…鉄骨平屋建て(一部2階建て) ①びん・缶処理棟(延べ床面積694.10㎡)びん・缶資源化設備、事務室 ②ペットボトル・廃プラスチック処理棟(床面積232.50㎡)ペットボトル・廃プラスチック資源化設備

修理コーナー



不用品情報コーナー

ペットボトルはプレスされ再利用品に生まれ変わります



ふたをはずしてください



再利用品の作業服



ペットボトル・牛乳パックなどからの再利用品

21世紀へ前進する海老名⑱

プラザで資源リサイクル

ごみの量の増大は深刻な状況となつてきています。その増加をくい止めるためには、みなさんの手でごみを分別し、資源として再利用(リサイクル)していくことが重要です。市では、再利用の拠点となる施設として、平成13年度の完成をめざし、「(仮称)海老名市リサイクルプラザ」を建設します。

市民と一体の取り組みでごみ減量

リサイクルプラザは、市民の方にリサイクルに関する活動の場を提供し、意識の向上を図ってもらうとともに、資源物を効果的かつ適正に処理することで、ごみの資源化や減量化を進めるための施設です。ここでは、みなさんがリサイクル活動に気軽に参加・実践できる「プラザ棟」と、回収された資源を、市場で再利用してもらえるように選別や圧縮梱包をし、再生業者への引き渡しまでを行う「工場棟」があります。

気軽に参加できる施設を目指して

現在、市では資源の分別回収を行い、できるだけごみを減らすよう努めています。また、市民のみなさんのリサイクルに対する関心も年々高まり、資源の回収量も年々増加しています。しかし、その一方でリサイクルの重要性は分かっているものの、家庭から資源回収に出した物が、どのようにリサイクルされているのかよく知らない」といった人が意外に多いようです。また、「壊れた自転車など修理の仕方が分からないので処分してしまった」、「まだ使えそうなものがごみとして捨てられている」といった話もよく聞きます。

リサイクルプラザは、このような疑問について学び、リサイクルを肌で感じてもらえる場所となることを目指して計画されました。「プラザ棟」には、現在美化センターで行っている「不用品交換制度」を移設するほか、市民同士で不用品の情報交換ができるコーナーを設置、その他にも、壊れている自転車や家具等を修理・再生して使えるようにする修理実演講習会や、リサイクルについての研修会の開催などを予定しています。

ペットボトル・びん・牛乳パックなど分別収集されたものは、衣服・文房具・紙などに生まれ変わり再利用されます。ごみゼロの21世紀をめざし、私たち一人ひとりがリサイクルについてさらに意識を高め、ごみの減量を進めるためにも、リサイクルプラザの完成が待たれます。

事業についての要望・提言を募集

プラザ棟での事業について、要望や提言のある方は、資源対策課(内8)までお寄せください。より良い施設づくりの参考とさせていただきます。